

泥釉七宝 銀河



泥釉七宝 水のいのち



泥釉七宝 凍夜

時を越えて甦る幻の技法 — 雅の泥釉七宝

上沼緋佐子展

K A M I N U M A H I S A K O

2004.9.1 水 ~ 10.31 日

開館時間=9:30~17:30 (入館は17:00まで)
年中無休 (但し12月28日~1月1日を除く)

第5室「古萬古コレクション」の展示は、「上沼緋佐子展」開催中の9月10月の2ヶ月間、お休みをいただきます。悪しからずご了承ください。

入館料=一般1,000円 (4枚セット券3,000円)
大学生800円 / 高校500円 / 中学生以下無料

上沼緋佐子列品解説=9月1日(水)2:30~ / 10月11日(祝)2:00~

〒510-1245 三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町21-6

Tel.0593-91-1088 Fax.0593-91-1077

http://www.paramitamuseum.com

E-mail=office@paramitamuseum.com

MAPCODE® 566359095

paramitamuseum

時を越えて甦る幻の技法 — 雅の泥釉七宝

上沼緋佐子展

K A M I N U M A

2004.9.1 水 ~ 10.31 日

H I S A K O

上沼緋佐子は昭和27年山形県に生まれ、母の影響で少女期より七宝を始めました。女子美を卒業後も七宝制作に打ち込んできましたが、平成4年文化庁の泥釉七宝技術の再現プロジェクトに関わり、自らの追求すべき技法にめぐり合いました。

明治以後の日本では西洋七宝の透明な釉薬が一般的になり、それまでの泥釉七宝の技術は途絶えてしまっていたのです。透明な宝石の輝きに擬せられる西洋七宝に対し、泥釉七宝は東洋的な玉の落ち着いた気品を漂わせています。泥釉七宝との出会いと、縁あって移り住んだ伊勢の地での生活が、上沼緋佐子の雅の世界を形作ったといえるでしょう。

上沼緋佐子の作品は日本古来の伝統技法と洗練された意匠感覚がみごとな調和を見せ、1995年には、イギリス大英博物館にも収蔵されました。

今回は、当館収蔵作品を含む約100点を展示し、上沼緋佐子の華麗な泥釉七宝の世界をお楽しみいただきます。

略歴

1952年 山形県に生まれる。
1973年 女子美術短期大学彫塑教室卒業。
1977年 第17回伝統工芸新作展入選、以後12回入選。
1979年 第26回伝統工芸展入選、以後9回入選。
1992年 山形市買い上げ、天童市立美術館買い上げ。
1994年 淡交ビエンナーレ茶道美術展入選、以後2回入選

1995年 大英博物館買い上げ。
1996年 日本橋高島屋個展。以後現在に至るまで日本橋、横浜、京都、大阪、名古屋高島屋にて毎年個展。

2000年 女子美術大学創立100周年記念「ヴィーナス達の100年展」選抜出品。

日本工芸会正会員、山形市在住。

パブリックコレクション

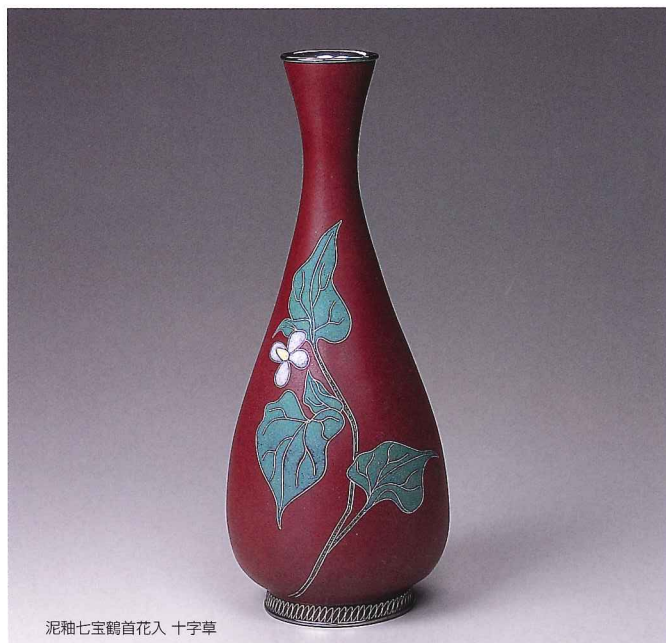
大英博物館、山形市、二見町、天童市美術館、出羽桜美術館、パラミタミュージアム



泥釉七宝箱 吉野



泥釉七宝箱 五十鈴川



泥釉七宝鶴首花入 十字草

交通機関

[自動車] 東名阪「四日市IC」より国道477号線(湯の山街道)を湯の山方面へ約6.5km 無料駐車場(普通車100台、大型/バス駐車可)

[電車] 近鉄「四日市駅」下車、近鉄湯の山線に乗り換え約25分「大羽根園駅」下車 西へ300m、477号線沿い北側

全館バリアフリー対応、常備車椅子4台

問い合わせ先: paramita museum

〒510-1245 三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町21-6

Tel.0593-91-1088 Fax.0593-91-1077

http://www.paramitamuseum.com

E-mail=office@paramitamuseum.com

